

太郎君と花子さんが遠足のバス車内で話をしています。

太郎：海が見えてきたね、日本海かな。砂浜の海岸だから海水浴ができそうだよ。

花子：そうね、ここは日本海だわ。このあたりは米どころだから、水田がたくさんあるわね。

太郎：あれ、砂浜に松の木が植えてあるね。海が見えなくなっちゃった。

先生：このあたりでは、地域の人々が江戸時代のころから、水田を守るために砂地でも育つ松の木を植えているんですよ。

花子：どうして、海岸に松を植えることが水田を守ることになるのですか。

先生：そうですね、北西方向に日本海があることから考えてみてください。

[問題1] 水田を守るために海岸に松を植えてきたのはなぜか、その理由を考えて書きなさい。

問題1

解答

問題1

北西の方向に日本海があり、砂浜になっているということが会話から読み取れます。そこで理由として考えられるのは防風林、砂防林としての役割です。海から吹き付ける強い海風や北西の季節風を防ぎ、風によって飛ばされる砂が水田に吹き込むのを防ぐために松を植えたと考えられます。

問題1

北西にある日本海から、強い海風や冷たい季節風が吹き付けるのを防ぎ、海岸の砂浜から砂が吹き飛ばされて水田に吹き込むのを防ぐため